

**地域企業マネジメント特論演習（二）**（4単位）

担当者氏名 黒瀧 秀久、長澤 真史

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

環境調和型産業や地域企業のあり方を明示しうる基礎的能力の習得をめざし、既存の文献や関連資料の整理・解説を中心に演習を行う。とくに、オホーツク地域を事例とし、地域産業の環境調和型産業への転換を念頭において、環境マネジメントシステムや環境ビジネスモデルの提言も行う。

◆取り扱う領域（キーワードで記載） ご自身のキーワードを記入してください

環境調和型産業                      地域産業                      環境ビジネス                      コミュニティ・ビジネス  
 アメニティ・ビジネス              企業マネジメント              環境マネジメント              自治体・協同組合

◆授業の進行等について

	テ ー マ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	地域ビジネスの動向分析 (第1～9週) (担当黒瀧秀久)	環境ビジネスの動向とコミュニティ・ビジネス及びアメニティ・ビジネスの動向について学修する	◎本演習は企業及び環境に関するマネジメントについて、理論と分析手法を学ぶが、テーマに関連する文献を事前に熟読しておくこと
2	マネジメントに関する研究動向(第10～15週) (担当黒瀧秀久)	企業マネジメント及び環境マネジメントに関する研究動向について学修する	◎日々生起している様々な経済現象を新聞、文献等で理解しておくこと。講義の際の最初に報告してもらい、不明確な場合は復習を課する。
3	オホーツク地域の分析 (第16～21週) (担当長澤真史)	関連資料の収集・整理、データ分析、分析結果の検討と報告してもらう	
4	オホーツク地域の実態調査①(第22～27週) (担当長澤真史)	企業マネジメントの調査及び行政へのヒアリングする	
5	オホーツク地域の実態調査②(第28～30週) (担当長澤真史)	実態調査を踏まえた提言書の作成する	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

演習の際に指示する。

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

『環境ビジネス白書』各年版／日本ビジネス開発

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト）

提言書の内容で評価する。

◆オフィスアワー

毎週月曜日4限目、研究室で受け付けます。

◆その他受講上の注意事項